

第53回 定時総会を開催

2021年5月31日(月)、一般社団法人電池工業会は第53回定時総会をWeb会議で開催した。定款に基づき千歳喜弘会長(マクセルホールディング株式会社)が議長となり、第1号議題が報告・確認され、第2号議題、第3号議題が審議され可決承認された。

1. 第53回定時総会

(1) 第1号議題(報告事項) 2020年度事業報告の件

専務理事より2020年度事業報告(案)が説明され、確認された。

(2) 第2号議題(第1号議案) 2020年度決算報告の件

専務理事より2020年度決算報告(案)が説明され、原案通り承認された。

監事より監査の結果、経理上および運営上、特段問題がなかった旨報告された。

(3) 第3号議題(第2号議案) 役員改選の件

専務理事から第134回理事会が推薦する役員を紹介し、原案通り承認された。(右上表参照)

2. 臨時理事会



村尾会長

第53回定時総会終了後、臨時理事会を開催した。

定款第31条第1項の規定に基づき理事会が成立することを報告し開会を宣言した。

(1) 第一号議案 役員互選の件

議長より、会長、副会長および専務理事の選定(案)が説明され、全員を承認可決した。(右下表参照)

<一般社団法人電池工業会 役員名簿>

(任期：2021年5月31日定時総会終了後～2023年5月開催の定時総会まで)

役職	氏名	所属・役職	備考
理事	長野 良	FDK株式会社 代表取締役社長	重任
理事	村尾 修	株式会社GSユアサ 取締役社長	重任
理事	生駒 宗久	パナソニック株式会社 エグゼクティブアドバイザー	重任
理事	中川 操	昭和電工マテリアルズ株式会社 専務執行役員 エネルギー事業本部長	重任
理事	小野 眞一	古河電池株式会社 代表取締役社長	重任
理事	中村 啓次	マクセルホールディングス株式会社 代表取締役 取締役社長	新任
理事	利根川 謙	株式会社 村田製作所 上席執行役員 エナジーデバイス事業部長	重任
理事	清水 義正	一般社団法人電池工業会 専務理事	重任
監事	石塚 芳樹	株式会社 東芝 電池事業部 シニアフェロー	新任
監事	紙野 愛健	青山アクセス税理士法人 代表社員	重任

<一般社団法人電池工業会 会長・副会長・専務理事名簿>

(任期：2021年5月31日定時総会終了後から2023年5月開催の定時総会まで)

役職	氏名	所属・役職
会長 (代表理事)	村尾 修	株式会社GSユアサ 代表取締役 取締役社長
副会長 (代表理事)	生駒 宗久	パナソニック株式会社 エグゼクティブアドバイザー
副会長 (代表理事)	長野 良	FDK株式会社 代表取締役社長
専務理事	清水 義正	一般社団法人電池工業会 理事

第 99 回 二次電池第 2 部会

2021 年 6 月 4 日（金）、第 99 回二次電池第 2 部会を Web 開催した。前任の湯浅部会長の退任に伴い、新部会長および新副部会長の互選が行われ、黒葛原部会長、浅利副部会長が選出され承認された。黒葛原部会長、浅利副部会長の就任の挨拶に続き、清水専務理事からの挨拶が行われた。新規委員紹介の後、各委員会の代表から 2021 年度のこれまでの活動報告がなされた。

1. 黒葛原新会長の挨拶

カーボンニュートラルの実現に向けて、蓄電池産業の発展に貢献したい。

2. 清水専務理事挨拶

理事会および総会が無事終了し新役員での体制がスタートした。

6/11 自民党の「未来社会を創出するバッテリー等の基盤産業振興議員連盟」の設立総会の案内を、正会員の皆さんにも送付した。今後の活動について注視していきたい。

3. 新規委員の紹介

マクセルの高尾委員より新任の挨拶が行われた。

4. 各委員会からの報告

各委員会より資料にそって活動内容説明がなされた。以下報告概要の項目番号は報告資料に合わせてあり、欠番については省略している。

(1) 技術委員会

報告資料よりトピックスを抜粋して報告がなされた。

2. 各分科会等報告

<リチウム二次分科会>

・ JIS C62133-2 : 電安法への採用を要望する規格として承認された。

<LIB 安全性技術 WG>

・ FISC 代替試験に関する対応 : DISC 試験の追加試験について情報共有。

<据置 LIB 分科会>

・ IEC 62619 ED2 (産業用 LIB の安全) : 次のステップが FDIS であることを確認。

<非駆動用車載 LIB 分科会>

・ IEC63118 ED1 (非駆動用車載 LIB 性能) : 5 月 31 日までに CD 案が発行される。

<ニカド・ニッケル水素分科会>

・ IEC 61951-1,-2 (ポータブルアルカリ蓄電池) : Amendment 発行が了承された。

<産業用ニッケル水素分科会>

・ IEC63115-1 (産業用ニッケル水素電池 性能) : 訂正は Amendment で進める。

<PSE-WG>

・ リチウムイオン蓄電池搭載電気製品の安全基準検討に係る調査検討委員会対応 : 報告書の最終版が METI HP に公表され、検討委員会として活動終了。

<蓄電システム WG>

・ 国土交通省「公公共建築工事標準仕様書」 : 6 月 10 日に国交省に意見を提出する。

<環境規格分科会>

・ IEC63218 (環境規格) : FDIS 案送付済み。

<リユース規格 WG>

・ 二次電池用リユース一般ガイダンス規格 : CD コメントについてレビューを行った。

<CFP 規格分科会>

・ IEC63369 (CFP 算出法) : 進行中の WD に対し、月 1 回の会議で対応。

3. 関連委員会の対応

<LIB 搭載機器の安全利用に関する手引書改正 対応>

・ JEITA/CIAJ への改定作業完了。今回で報告は終了とする。

4. 技術委員会審議事項

①他部会との協議必要な事案の進め方ルール化について
・ 審議事項②にて具体的な進め方を検討することで承認された。

②欧州電池規則対応の組織体制について
・ まずは技術委員会で受けるが、議論事案によっては第 2 部会下で対応をお願いする可能性がある。→ 議題 8 「その他審議事項」での議事とする。

③二次電池用語 (SBA S 0405) 対応について
・ 技術委員会副委員長が担当することで承認された。

④電池サプライチェーン協議会 (BASC) 材料標準化委員会への BAJ 参加について
・ 電池材料の使用者の立場で、委員として参加することが承認された。

(2) 国際電池規格委員会

カテゴリ別のガントチャートのトピックスおよび一覧表の赤字部分の報告がなされた。

<国際規格のガントチャート>

・ SC21A の WG 会議が 4 月に開催。インドが ESS 用

BMS 安全規格を提案。日本は開発反対の意見であるが、開発可決の場合、無害化のためプロジェクトチームには参画予定。その他の規格に大きな課題なし。今回の WG 会議は 2022 年 2 月。

<一覧表>

■ IEC 規格の状況

- ・ IEC62133-1 (携帯機器用 Li 二次 安全) : 提出された改正案に対し、WG 会議を予定。
- ・ IEC63369 (ESS 用 LIB の CFP 計算法) : 12 月の CD 発行を目指すことが決定。
- ・ IEC61434 (二次電池の電流及び容量表記法) : SC21A MT8 が新設された。

■ ANSI 会議 (3 月 24 日、25 日)

- ・ C18-5 分科会(リチウム二次性能) : 全固体リチウム二次電池の性能を含んだ次版の検討が開始。

(3) 国際電池輸送委員会

2. 活動内容

【国際電池輸送委員会】

(1) SAE G-27 WEB 会議 (3 月の Face to Face 会議)

- ・ WEB 会議を通じてアクションアイテムの進捗を確認。毎月定例の WEB 会議には委員が順番に参加。

(2) WRBRF 2021(9th World Rechargeable Battery Regulatory Forum)会議

- ・ 委員長より ICAO 航空輸送規則(ICAO DGP-WG/20 結果報告)および小型全固体 LIB の輸送規則提案についてプレゼン報告。

(3) ICAO DGP Energy Storage Devices Working Group への参画

- ・ 航空局 荒谷専門官のアドバイザーとして、委員会より、委員長、副委員長、事務局より会議に参加。

(4) 手引書の修正

- ・ IATA-DGR 第 62 版の ADDENDUM II の対応として、一部改定のお知らせを HP 掲載。

【WG】

(1) 小型全固体 LIB 輸送 WG

- ・ 各社の試験の進捗状況を共有。5/中には現時点の試験について試験完了予定。

(4) 普及促進委員会

«普及促進委員会»

- ・ 2020 年度の政府への提言について : 2020 年 3 月に経産省へ提出。5 月 11 日に経産省・情報産業課より、提言書のフィードバックを受けた。
- ・ 2021 年度活動について : 「2050 年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」、「新型コロナウイルス感

染対策による生活様式変容」への対応も取り入れる。

«法規 WG»

- ・ 消防法規制適正化活動 : 工場見学後の意見交換で消防庁側から、シートによる火災の遮蔽が効果的な可能性があると言及があった。
- ・ 「危険物施設におけるスマート保安等の実現に向けた検討会」への対応

(5) 駆動用車載 LIB 委員会

2. 活動内容、対応規格

- ・ 駆動用車載 LIB 委員会とリユース規格分科会の合同会議 : IEC 63338 CD に対する各国コメント及び会議での意見をまとめ、5 月 27 日にエキスパートへ配信。
- ・ JARI 電池標準化 WG リユース TG との協力 : IEC 63330 ED1 として WD を審議。
- ・ TC120 (蓄電システム) WG4、WG5 : Reuse 電池を用いた ESS の環境要件規格 (IEC 62933-4-4) update なし。
- ・ 欧州電池規則への対応として、我が国は WTO/TBT に対してコメントを提出(4/26)した。BAJ はこれに協力した
- ・ CEN/CENELEC への BAJ のオブザーバー参加に関して、JISC を通じて CEN-CENELEC Management Centre (CCMC) から正式承認された旨の連絡があった。

(6) PL 委員会

2. 活動報告

(1) 消費者庁の事故情報収集

- ・ 市場での事故について、モバイルバッテリーは、将来的には減少することを期待しているが、19 年以降 15 ~20 件/四半期で推移。スマートフォンは、2017 年 7-9 月をピークに減少傾向。ノートパソコンは、2017 年をピークに 2020 年は大幅に減少。アシスト自転車は、2020 年は 15 件と 2019 年以前と同程度に減少。充電式電気掃除機は、2019 年 7-12 月に増加したが、2020 年は減少傾向。

(7) 再資源化委員会

3. 活動報告

3.1 小型充電式電池、定置用、産業用、車載用などの電池に関する動向調査

- ・ 特になし。

3.2 充電式電池の回収・再資源化の政府・業界対応窓口

- ・ 環境省の「リチウムイオン電池等処理困難物の対策に係る検討会」に参加。

3.3 電池使用機器及び充電式電池の電池回収表示・記載及び電池回収の実態調査

・報告書『市町村における小型充電式電池の回収実態調査報告』をまとめた。別添にて詳細を報告。

3.4 BAJ への問合せの多い表示・回収項目への対策検討

・BAJ ホームページが4月1日付けでリニューアルされ、本委員会の提案が盛り込まれたことを確認。

(8) 広報総合委員会

2. 活動報告

(1) 展示会・イベント活動

①でんちフェスタ in 東京 (10/30 開催計画) : 7 月に開催の可否を判断予定。

②手づくり乾電池教室 : リモートでの開催を計画中。

(2) キャンペーン・PR 活動

①ボタン電池の乳幼児誤飲防止の交通広告 : 都営新宿線、大阪モノレール

②小型充電式電池の回収・リサイクルの交通広告 : 名古屋地下鉄、福岡地下鉄

③小型充電式電池の回収・リサイクルの啓発広告 : サンデー毎日

④BAJ 作成の啓発動画の告知広告 : 読売 KODOMO 新聞から YouTube 動画へ誘因

⑤自動車用バッテリーの定期点検・買替促進の広告 : 自動車学校雑誌、スポーツニッポン

⑥啓発キャンペーン

・「電池は正しく使いましょう！」キャンペーン

・「でんち川柳コンテスト」

(3) 情報発信

① 機関紙「でんち」: 毎月発行

② 工業会ホームページのリニューアル: 4月1日に一般公開

③ We LOVE DENCHI : 内容の改訂作業中。

(9) 国際環境規制総合委員会

1.2 環境関連国際会議への参加及び海外現地調査

・国際二次電池規制フォーラム (WRBRF) にてアジア地区の電池規制について報告した。

1.3 「世界の電池環境規制の状況」第 11 版電子追補版の作成

・5月末に完成し BAJ BOX にアップし会員各社で共有した。

1.4 欧州 PFAS 規則対応

・欧州で有機フッ素系化合物(PFAS)の法規制の動きがあり、意見書を投稿した。

1.5 地域別環境情報

(1) 欧州 : 特筆すべき報告事項無し。

(2) 北米 : 米ワシントン DC で全ての電池の EPR 法成立

(3) アジア : 特筆すべき報告事項無し。

(4) 中南米 : コロンビア、水俣条約附属書 A の水銀含有製品の製造及び輸出入を禁止する政令を公布

5. JBRC 報告

I. 会員状況

6月現在 : 364 法人

II. 回収状況 (2020 年度累計)

①回収量 : 前年比 132.7%

②正極系リチウムイオン電池回収量推移 : Co 系以外構成比 66%

③再資源化率実績 : ニカド 74%、ニッケル水素 77%、リチウムイオン 53%

III. 具体的施策実施方針

1. 小型充電式電池の安全な回収・再資源化処理の強化

(1) 安全回収強化 : 二重構造梱包、問題なく運用中。

(2) 密接な情報交換 : モバイルバッテリー事業者、2020 年度は 6 法人が入会。

(3) 事業者、産廃排出協力店、自治体への取り組み : 一廃排出協力自治体 316

(4) 一般消費者への幅広い広報宣伝活動

①リサイクルクイズキャンペーン 2020 : 応募数 27,820 通 (前年度比 74%)

②紙媒体 : 4 紙

③出前授業 (8ヶ所計画、4ヶ所実施、4ヶ所中止)

2. 管理・運営業務の効率化

(1) 「JBRC 業務 (回収・会員管理) システム」の安全回収機能拡充

・ペール缶への一本化のシステム対応を実施。また自動音声受付、新規排出者登録の Web 申請化へのシステム対応を実施。

(2) 「コンプライアンスリスク」ゼロ化へ業務委託先との法遵守活動

・業務委託先 4 社に対して監査を実施 (4 社中 3 社は Web 監査)

6. その他審議事項

1) 【報告】欧州電池規則対応の組織体制について

・技術委員会で一次対応するという体制案について意見を求めたが、特に異議やコメントは無く確認された。

「未来社会を創出するバッテリー等の基盤産業振興議員連盟」設立総会

2021年6月11日（金）、自民党本部において、「未来社会を創出するバッテリー等の基盤産業振興議員連盟」設立総会が開催された。会長には衆議院議員の甘利明氏、顧問には安倍晋三前首相が就任、「蓄電池産業の振興による経済強靱化に向けた緊急決議」が採択された。

ノーベル化学賞を受賞した吉野彰氏が、「未来社会を創出する、バッテリー等の基盤産業振興に関しての提言」について講演された。

電池工業会の関係者としては、正・賛助会員 31 社、並びに事務局と併せて 44 名が参加した。



中央：吉野彰氏、 左：甘利明会長、 右：安倍晋三顧問・前首相

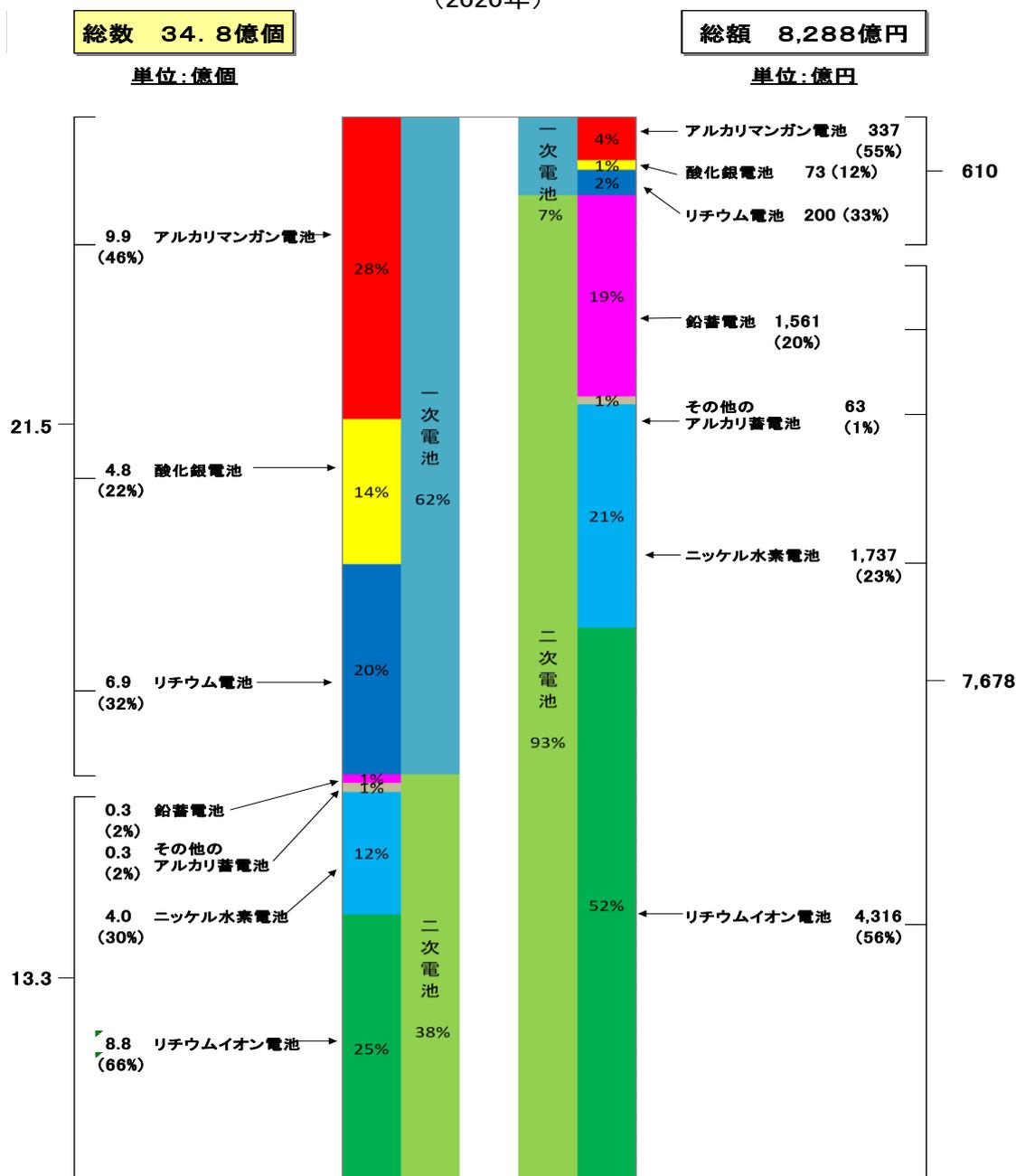
2020年電池の総生産額は8,288億円

経済産業省機械統計によると、2020年の電池総生産額は8,288億円と前年比100.4%と微増した。

項目別では一次電池の生産額が610億円(前年比97%)と減少し、二次電池の生産額は7678億円(前年比100.7%)と微増した。種類別生産額の比率に大きな変動はなかったが、リチウムイオン電池の生産額比率が二次電池の56%を占めている。

電池の総生産

(2020年)



※単位未満を四捨五入しているため、内訳の積み上げと合計が一致しない場合があります。

2021年5月度の電池工業会活動概要

部会	月度開催日	委員会・会議	主な審議、決定事項
特別会議、他	19日(水)	蓄電池設備認定委員会	蓄電池設備の資格登録の審査、型式認定の審査。
	21日(金)	広報総合委員会	でんちフェスタ、手づくり乾電池教室、We LOVE DENCHI改訂、他。
	27日(木)	国際環境規制総合委員会	地域別動向アップデート、他。
二次電池部会	14日(金)	PL委員会	バッテリー爆発データ取りまとめ審議。
	17日(月)	自動車技術サービス分科会	TS-004改定審議、TS-015リーフレット作成審議。
	19日(水)	環境委員会	欧州新電池規則案対応協議。
	21日(金)	充電器分科会	SBAS0904、9資09改正審議、他。
	21日(金)	用語分科会	SBA S 0405改訂審議、SBA S 0407様式審査。
	24日(月)	産電リサイクル委員会、広域認定分科会	広域認定申請状況確認。
二次電池第2部会	10日(月)	産業用ニッケル水素分科会	JIS規格検討。
	11日(火)	LIB安全性技術WG	内部短絡試験に関する技術検討。
	11日(火)	環境規格分科会	環境規格の審議・検討。
	12日(水)	蓄電システムWG	公共建築工事標準仕様書の改訂検討。
	12日(水)	CFP規格分科会	キックオフ。産業用LIBのカーボンフットプリント規格対応。
	13日(木)	据置LIB分科会	産業用LIBのIEC,ISO規格対応。
	13日(木)	法規WG	蓄電池の規制検討。
	17日(月)	駆動用車載LIB委員会・リユース規格分科会 合会議	車載LIBのリユースに関する検討。リユースガイドライン規格の検討。
	18日(火)	国際電池輸送委員会	危険物輸送の国際会議に関する対応。
	18日(火)	再資源化委員会	蓄電池再資源化に関する対応。
	19日(水)	普及促進委員会	蓄電池システムの普及促進検討。
	19日(水)J	リチウム二次分科会	IEC62133-2 ED2検討、電安法 過充電保護機能確認試験への対応協議、他。
	21日(金)	PL委員会	安全啓蒙施策、事故情報集計。
	24日(月)	小型全固体LIB輸送WG	小型全固体LIBの輸送規制に関する検討。
	25日(火)	非駆動用車載LIB分科会	非駆動用LIBのIEC規格策定。
	26日(水)	技術委員会	技術全般に係る審議事項への対応。
	27日(木)	法規WG	蓄電池の規制検討。
31日(月)	国際電池規格委員会	IEC /ANSI規格 審議。	
一次電池部会	10日(月)	規格委員会	IEC60086-1/-2/-3/-4/-5/-6 及びIEC62281の課題検討、他。
	12日(水)	コイン形リチウム二次分科会	ISO TC114 WG1 小グループ会議対応審議、他。
	21日(金)	ボタン電池回収推進委員会	昨年度の実績報告、今後の取り組み。

3月度電池販売実績（経済産業省機械統計）

（2021年3月）

単位：数量一千個、金額一百万円（小数点以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります）

2011年1月より経済産業省の機械統計は「マンガン乾電池」を「その他の乾電池」に統合されました。

2011年1月より経済産業省の機械統計が「その他の鉛蓄電池」に「小形制御弁式」が含まれました。

2009年12月より経済産業省の機械統計が「その他のアルカリ蓄電池」に「完全密閉式」が含まれました。

「その他の鉛蓄電池」は「二輪自動車用」、「小形制御弁式」を含む。

（2011年～2012年は経済産業省機械統計の「酸化銀電池」は「その他の乾電池」を含む）

2012年より経済産業省の機械統計が「リチウムイオン蓄電池」は「車載用」が新設されました。

（2011年までの「リチウムイオン蓄電池」には「車載用」は含まれていません）

「その他の乾電池」を削除する。（2013年経済産業省機械統計より）

2017年9月より経済産業省機械統計のアルカリ乾電池「単三」「単四」は公開されていません。

	単 月				1月～当月累計			
	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比
全電池合計	436,726	103,444	120%	120%	1,086,519	265,287	108%	113%
一次電池計	259,186	8,104	118%	114%	665,742	21,810	107%	108%
酸化銀電池	53,435	1,068	111%	131%	150,219	2,856	86%	100%
アルカリ乾電池計	123,707	3,484	129%	104%	299,068	9,742	124%	109%
単 三	-	-	-	-	-	-	-	-
単 四	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	23,919	904	120%	89%	61,713	2,613	133%	104%
リチウム電池	82,044	3,552	109%	121%	216,455	9,212	105%	110%
二次電池計	177,540	95,340	123%	120%	420,777	243,477	109%	113%
鉛電池計	2,903	18,320	104%	98%	8,253	51,735	102%	99%
自動車用	2,233	11,464	102%	102%	6,384	33,394	102%	103%
その他の鉛蓄電池	670	6,856	109%	93%	1,869	18,341	102%	92%
アルカリ蓄電池計	50,508	20,963	124%	125%	130,772	54,985	105%	114%
ニッケル水素	47,714	20,298	126%	126%	122,074	53,081	105%	114%
その他のアルカリ蓄電池	2,794	665	101%	109%	8,698	1,904	103%	103%
リチウムイオン蓄電池計	124,129	56,057	123%	127%	281,752	136,757	112%	120%
車載用	92,984	44,153	143%	139%	192,255	104,799	122%	127%
その他	31,145	11,904	87%	98%	89,497	31,958	95%	99%

3月度電池輸出入実績（財務省貿易統計）

（2021年3月）

単位：数量一千個、金額一百万円（少数点以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります）

2012年より二次電池の輸入項目「その他の二次」が「ニッケル水素」「リチウムイオン」「その他の二次」に分かれました。

2016年より一次電池の輸入項目「アルカリ」が「アルカリボタン」「アルカリその他」に分かれました。

	単 月				1月～当月累計			
	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比
全電池合計（輸出）	234,525	58,655	118%	119%	605,989	150,102	106%	115%
一次電池計	106,084	3,981	114%	142%	292,441	9,029	103%	122%
マンガン	6	0	-	-	308	16	-	-
アルカリ	8,028	116	71%	58%	29,627	434	133%	108%
酸化銀	42,493	691	123%	146%	123,357	1,966	95%	119%
リチウム	55,557	2,060	119%	131%	139,147	4,798	105%	111%
空気亜鉛	0	0	-	-	0	1	0%	42%
その他の一次	1	1,114	188%	203%	2	1,815	128%	180%
二次電池計	128,441	54,674	120%	117%	313,548	141,074	110%	115%
鉛蓄電池	168	1,187	119%	116%	434	3,015	104%	104%
ニカド	519	218	71%	180%	1,876	419	103%	157%
ニッケル鉄	0	0	-	-	0	1	400%	293%
ニッケル水素	18,913	8,114	179%	78%	45,563	23,452	145%	77%
リチウムイオン	97,182	35,051	116%	145%	232,647	86,844	104%	143%
その他の二次	11,658	10,104	100%	94%	33,027	27,342	115%	95%
全電池合計（輸入）	117,057	22,018	84%	118%	338,060	62,286	94%	122%
一次電池計	108,901	1,779	83%	83%	313,794	4,807	93%	88%
マンガン	10,872	106	73%	73%	32,214	319	96%	92%
アルカリボタン	1,572	12	81%	75%	5,025	33	88%	71%
アルカリその他	79,391	980	81%	84%	226,484	2,731	92%	90%
酸化銀	109	5	99%	82%	394	13	89%	76%
リチウム	10,408	527	99%	102%	30,967	1,328	95%	89%
空気亜鉛	6,543	100	102%	71%	18,699	298	104%	79%
その他の一次	6	49	2138%	34%	9	84	213%	44%
二次電池計	8,156	20,239	114%	123%	24,266	57,479	110%	126%
鉛蓄電池	870	4,052	124%	119%	2,443	11,377	121%	114%
ニカド	70	175	58%	184%	204	400	135%	131%
ニッケル鉄	0	1	-	-	0	1	-	-
ニッケル水素	2,141	394	148%	120%	5,944	1,058	111%	107%
リチウムイオン	5,052	14,365	104%	125%	15,618	41,172	109%	131%
その他の二次	22	1,251	42%	107%	58	3,471	33%	127%